

ナス
／h▽小売価格（税抜
を軽
を開
すべ
や石
検お
の効
が簡

日農機製工

道内畑作農業に貢献

農業食料工学会支部賞受賞

日農機製工「安久津昌
義社長、北海道足寄郡足
寄町郊南1-13」は9月
1日、酪農学園大学で開

催された農業食料工学会
北海道支部第66回年次大
会において、「ビートハ
ーベスタの作物列自動追

下部組織として昭和25年
に発足。会員は大学、農
水省、北海道庁、農業試
験場、農業改良普及所、

拠点に一貫して畑作農業
機械の開発・製造を手掛
け続け、圧倒的な市場占
有率を誇る中耕除草作業
機「草刈るチ」シリーズ
や、高い作業性能で農家
から絶大な支持を集める
ビートハーベスタ「ピタ
ROW(ピタ)くん」な
どを開発。カルチベータ
専用のアタッチメントや
鎮圧ローラなど、畑作農
家に役立つ機械を投入し
ている。こうした北海道



従装置および精密
除草機の開発」
で、第16回農業食
料工学会北海道支
部賞を受賞した。

農業団体、農協、製糖会
社、農機会社などの農業
機械関係者から個人農家
まで拡大。個人会員数は
200名を超え、今日で

は地域性を積極的に意識
した活動を推進し、海外
シンポジウムやセミナー
開催などユニークな活動
を展開するなど、北海道
の農業機械化と食料生産
の発展と共に歩み60年を
迎えている。

農業食料工学会
北海道支部は、農
業食料工学会(旧
農業機械学会)の

は地域性を積極的に意識
した活動を推進し、海外
シンポジウムやセミナー
開催などユニークな活動
を展開するなど、北海道
の農業機械化と食料生産
の発展と共に歩み60年を
迎えている。

授賞式に出席した大島
良寛同社営業技術課課長
は、「今後も農家の皆様
にお役に立てる製品の開
発に尽力していきたい」
と意気込んでいた。

左より川村北海道大
学支部長、新家専修
大学道短大元学長、
大島日農機製工課長

日農機製工は、十勝を

授賞式に出席した大島
良寛同社営業技術課課長
は、「今後も農家の皆様
にお役に立てる製品の開
発に尽力していきたい」
と意気込んでいた。